

【科学研究費補助金研究等への参画状況】

| 課 題 名 | 担当研究者 | 協力依頼期間 (研究事業期間) | 概 要 |
|--|--|---------------------------|---|
| <p>食品由来薬剤耐性菌のサーベイランスのための研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 渡邊治雄)</p> <p>【分担研究】 地研ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p> | <p>平成 30～ 令和 2 年度</p> | <p>・全国地方衛生研究所協議会ネットワークを利用した食品およびヒトから分離されるサルモネラ属菌, 大腸菌, カンピロバクター等の薬剤耐性の動向調査.</p> |
| <p>薬剤耐性菌サーベイランスの強化及び薬剤耐性菌の総合的な対策推進に関する研究 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 柴山恵吾)</p> <p>【分担研究】 地方衛生研究所における薬剤耐性菌の調査能力強化に必要な基盤となる技術の開発と普及 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p> | <p>平成 30～ 令和 2 年度</p> | <p>・全国の地方衛生研究所における薬剤耐性菌の調査能力強化に必要な基盤となる技術の開発と普及.</p> |
| <p>愛玩動物由来人獣共通感染症に対する検査及び情報共有体制の構築 (日本医療研究開発機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 山口大学 前田 健)</p> <p>【分担研究】 愛玩動物における SFTS ウイルスの検査体制と報告制度の整備の検討 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p> | <p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊</p> | <p>平成 30～ 令和 2 年度</p> | <p>・愛玩動物の遺伝子検査法, 抗体検査法の検査体制の検討. ・愛玩動物が SFTS を発症した際の飼い主, 獣医師等への検査対応のあり方の検討.</p> |
| <p>食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 泉谷秀昌)</p> <p>【分担研究】 中国・四国ブロックの菌株の解析及び精度管理 (研究分担者 岡山県環境保健センター 狩谷英明)</p> | <p>【協力研究】 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳</p> | <p>平成 30～ 令和 2 年度</p> | <p>・腸管出血性大腸菌 O157 株の PFGE 法, IS-printing system 及び MLVA 法による精度管理, 発生事例の分子疫学的手法による解析, 県内で発生した腸管出血性大腸菌感染症事例の情報提供及び解析.</p> |

| | | | |
|--|---|-----------------------|---|
| <p>病原体ゲノミクスを基盤とした病原体検索システムの利活用に係る研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 黒田 誠)</p> <p>【分担研究】 地方衛生研究所における感染症危機管理ネットワークの構築 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 浅野由紀子 氏家絢子 矢儀田優佳 豊嶋千俊 岩城洋己 山下育孝 永井雅子 長谷綾子</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全国地方衛生研究所における遺伝子検査及び分子疫学解析等, 病原体ゲノム解析の現状を調査. ・研究協力者からのゲノム情報の収集と解析. ・病原体ゲノム情報の利活用がもたらす感染症危機管理体制強化へのメリットについて検討し, 取りまとめ全国地方衛生研究所を対象に広報する. |
| <p>一類感染症等の新興・再興感染症の診断・治療・予防法の研究推進 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 下島昌幸)</p> <p>【分担研究】 一類感染症等の実験室診断の迅速化 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 岩城洋己 山下育孝</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一類感染症全般とニパウイルス感染症の迅速な診断法の確立に向け, 地方衛生研究所でも実施可能な方法について, 研修や試薬の配布を通してその可能性を試行する. |
| <p>急性弛緩性麻痺, 急性脳炎・脳症等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明, 治療法の確立に資する臨床疫学研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 多屋馨子)</p> <p>【分担研究】 地衛研における検査・病原体解析 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 岩城洋己 山下育孝 永井雅子 長谷綾子</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地方衛生研究所における急性脳炎・脳症・急性弛緩性脊髄炎(AFP)の病原体検索の現状を調査し, 国内の状況を明らかにする. |
| <p>食中毒原因ウイルスの不活化および高感度検出法に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 鈴木亮介)</p> <p>【分担研究】 食材, 食中毒関連情報の収集, 地方衛生研究所における検証 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 岩城洋己 山下育孝</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新規検出系を各地方衛生研究所の研究協力者とともに, 実用性の検証を行い, 改良に必要な情報を得るとともに, 各ウイルス担当者へ情報を提供する. |

| | | | |
|--|--|-----------------------|--|
| <p>「公衆浴場におけるレジオネラ症対策に資する検査・消毒方法等の衛生管理手法の開発のための研究」 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 前川純子)</p> <p>【分担研究】 「入浴施設の衛生管理ガイドラインの作成, 集団発生調査ガイドラインの作成」 (研究分担者 岡山理科大学 黒木俊朗)</p> | <p>【協力研究】 浅野由紀子</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1年目に作成した現場で実践できる入浴施設の衛生管理ガイドラインの評価と修正. ・1年目に作成した全国の自治体で使用できる集団発生調査ガイドラインの試験的導入による評価 |
| <p>「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の対策に資する開発研究」 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 西條政幸)</p> <p>【分担研究】 「SFTS 迅速診断法の開発」 (研究分担者 (国立感染症研究所 福士秀悦)</p> | <p>【協力研究】 四宮博人 豊嶋千俊 山下育孝</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・SFTS 疑い検体について LAMP 法を実施し, 従来の SFTS 検査法及びリアルタイム PCR 法と比較することで, LAMP 法の有用性を検討する. SFTS 検査診断における簡便で迅速にウイルス検出が可能な LAMP 法の確立及び実用化に向けた研究を実施する. |
| <p>「地方衛生研究所における感染症等による健康危機の対応体制強化に向けた研究」 (厚生労働科学研究: 代表者 神奈川県衛生研究所 高崎 智彦)</p> <p>【分担研究】 「地衛研間及び国立感染症研究所等他機関との連携協力に関する検討」 (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【分担研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 四宮博人 青木紀子</p> | <p>令和2～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地衛研全国協議会と国立感染症研の間の連携協力に関する検討. |
| <p>「地方衛生研究所における感染症等による健康危機の対応体制強化に向けた研究」 (厚生労働科学研究: 代表者 神奈川県衛生研究所 高崎 智彦)</p> <p>【分担研究】 「ヒューマンエラー予防やトラブルシューティングに関する研修実証」 (研究分担者 国立感染症研究所 吉田 弘)</p> | <p>【協力研究】 豊嶋千俊</p> | <p>令和2～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地方衛生研究所の病原体検査における, ヒューマンエラー予防等を含めた研修等など, 検査担当者の人材育成について検討する. |

| | | | |
|---|--|-----------------------|--|
| <p>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究 (日本医療研究機構(AMED): 代表者 国立感染症研究所 清水博之)</p> <p>【分担研究】 エンテロウイルスサーベイランスにおける検査法の確立と実態解明 (研究分担者 群馬県立衛生環境研究所 猿木信裕)</p> | <p>【協力研究】 四宮博人</p> | <p>令和元～ 令和3年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全国 10 カ所程度の地方衛生研究所の協力を得て、検査法及び検査体制の整備・確立を行う。 ・各地方衛生研究所で検出されたエンテロウイルス D68 等のエンテロウイルス流行状況をもとに、疾病との関連について解析し、エンテロウイルスと急性弛緩性麻痺及び髄膜炎との関連性を明らかにする。 |
| <p>地方衛生研究所における病原体検査体制、サーベイランス対応の状況と課題 (厚生労働行政推進調査事業: 代表者 山口県環境保健センター 調 恒明)</p> <p>【分担研究】 体制検討, 検査の検証 (地方衛生研究所における新型コロナウイルス感染症への対応の全国調査) (研究分担者 愛媛県立衛生環境研究所 四宮博人)</p> | <p>【協力研究】 四宮博人</p> <p>【協力研究】 青木紀子 豊嶋千俊 岩城洋己 山下育孝</p> | <p>令和元年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地衛研による新型コロナウイルスの病原体検査の対応について実態を把握し、また、課題、今後の体制について、地衛研、感染研、保健所の立場から分析し、重要な社会インフラとしての地衛研の検査体制の改善すべき点について検討を行う。 |
| <p>ウイルス性下痢症の網羅的分子疫学・流行予測ならびに不顕性感染実態解明に関する研究 (厚生労働科学研究: 代表者 国立感染症研究所 村上光一)</p> <p>【分担研究】 地方自治体の連携によるノロウイルスの分子疫学情報の収集と活用 (研究分担者 山口県環境保健センター 調 恒明))</p> | <p>【協力研究】 四宮博人</p> | <p>令和2～ 令和4年度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地方衛生研究所(地研)、大学ならびに国立感染症研究所(感染研)が連携し、下痢症ウイルス感染の流行実態を解明し、下痢症患者(感染性胃腸炎患者・食中毒患者)由来の網羅的分子疫学解析に関しては、下痢症ウイルス感染症に関する不顕性感染の実態を解明する。 |